

1. 北部地域を「田舎モダン」でさらなる活性化を

町は、新元号とともに大きく変わろうとしている。庁舎の完成や北部地域の拠点である瀬戸屋敷周辺の整備を計画されている。観光バス等の受け入れができるよう駐車場の拡大整備やふるさと道具館をリニューアルし、加工所や地場産の直売所等の整備が行われようとしている。

町長は、3期目の公約の中で、田舎モダンな町を目指して更なる成長を図るとし、北部地域においては①農業の再生と6次産業化の更なる推進、②農業体験、自然と触れ合う事業の充実、③プレイヤークの充実に向けて金井島緑陰広場の整備が謳われている。

しかしながら、一昨年の独自調査（アンケート）では、北部地域の農家の約半数以上が70歳以上の方で、今後は高齢化が進んでしまうことになる。さらに、「後継者がいない」という声も数多くあった。

今後、これらの課題をどのように捉え、解決していくのか町の考えを問う。

- ① 農業振興と観光・交流拠点づくりをどのように考えるか。
- ② 北部地域の魅力を、特に南部地域の住民に対してPRしては。